

平成27年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	157	事業名	大学連携の推進
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	区内に多くの大学が存在するという特徴を活かし、区と区内大学が様々な分野において相互に連携・協力することにより、文京区の魅力を高めていきます。		
手段	区内大学の連携担当者会議や学長懇談会など、区と大学との連携を進めていく会議体等を、これまでに引き続き設けていきます。また、大学連携推進検討会を設置し、より具体的な連携のあり方を検討して行きます。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
学長懇談会の実施	年	1	1	1	100%	1			1
地域連携担当者会議	年	2	3	2	67%	3			3
大学連携検討会	年	—	4	2	50%	4			4

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	193	539	239	462		
特定財源	0	0	0	0		
一般財源	193	539	239	462		
所要人員 B	0.30	0.90	0.90	0.90		
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944		
人件費 D=B×C	2,060	6,133	6,089	6,250		
総経費 E=A+D	2,253	6,672	6,328	6,712		

4 評価				
事業の成果及び課題				
26年度	27年度	28年度		
【成果】 区と区内大学・短期大学及び大学間の連携等を一層進めていくために、各大学の事務担当者が出席する「地域連携担当者会議」を7月と12月の2回実施し、大学連携について意見交換・情報共有を行いました。1月には、区内大学学長懇談会を開催し、「大学が考える地域貢献」を議題として、大学連携の一層の推進に向け、大学と区の見解を相互に交わしました。また、大学連携に関する庁内会議を設置し、大学連携についての区の考えを集約できる場を整えました。	【成果】 区と区内大学・短期大学及び大学間連携等を一層すすめていくために、各大学の事務担当者が出席する「地域連携担当者会議」を7月と12月の2回実施し、大学連携について意見交換・情報共有を行いました。加えて、連携の方向性を検討するために「大学連携検討会」を設置し、11月と2月の2回開催しました。1月には、区内大学学長懇談会を開催し、「大学間の相互連携について」を議題として、大学連携の一層の推進に向け、大学と区の見解を相互に交わしました。また、大学連携に関する庁内会議を2回開催し、区の考えを集約しました。	【成果】 地域連携や地域貢献に対する各大学の考えや姿勢に異なりがあるため、今後の大学連携の取り組みについて、各大学と区が共通イメージを持つことが必要です。また、昨年度の課題を解消するために、新たに大学連携検討会を立ち上げましたが、積極的な意見交換の場としていく必要があります。		
【課題】 地域連携や地域貢献に対する各大学の考えや姿勢に異なりがあるため、今後の大学連携の取り組みについて、各大学と区が共通イメージを持つことが必要です。	【課題】 地域連携や地域貢献に対する各大学の考えや姿勢に異なりがあるため、今後の大学連携の取り組みについて、各大学と区が共通イメージを持つことが必要です。また、昨年度の課題を解消するために、新たに大学連携検討会を立ち上げましたが、積極的な意見交換の場としていく必要があります。	【課題】 地域連携や地域貢献に対する各大学の考えや姿勢に異なりがあるため、今後の大学連携の取り組みについて、各大学と区が共通イメージを持つことが必要です。		
指標達成度		26年度	27年度	28年度
		B	B	

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況

6 今後の方向性		
時点	方向性	
26年6月末	現状維持	① 事業の展開内容 区内大学地域連携担当者会議及び区内大学学長懇談会を引き続き実施していきます。また、大学連携検討会及び庁内大学連絡会を設け、連携を進める場を整えます。
		② 当初予算の増減内訳 大学連携検討会経費の減 △80千円
27年6月末	現状維持	③ 所要人員の考え方 常勤職員：0.9
		④ 現状維持の理由 会議の規模は現状維持を基本とし、引き続き検討を進めていく必要があります。
28年6月末		

平成27年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	158	事業名	生涯学習一日体験フェア
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	生涯学習の機会について区民に幅広く情報提供するとともに、サークル活動発表等「学び」の成果を発表する場を提供し、区民の生涯学習活動への参加を支援します。		
手段	文京アカデミア講座の企画協力団体等が一堂に集い、講座の内容紹介、学習相談、学習情報の提供及びサークル活動の成果発表の場となる生涯学習一日体験フェアを実施します。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
一日体験フェア開催数	回	2	2	2	100%	2			2

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	320	330	330	330		
特定財源	0	0	0	0		
一般財源	320	330	330	330		
所要人員 B	0.15	0.15	0.15	0.15		
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944		
人件費 D=B×C	1,030	1,022	1,015	1,042		
総経費 E=A+D	1,350	1,352	1,345	1,372		

4 評価					
事業の成果及び課題					
26年度		27年度		28年度	
【成果】		【成果】		【成果】	
参加大学・団体数は79団体、来場者数は1,389人に及び、盛況でした。来場者アンケートの結果も良好で、生涯学習講座の紹介やサークル活動の成果発表の場としての役割を果たしています。		参加大学・団体数は90団体、来場者数は1,532人に及び、前年度以上に盛況でした。来場者アンケートの結果も良好で、生涯学習講座の紹介やサークル活動の成果発表の場としての役割を果たしています。			
【課題】		【課題】		【課題】	
より多くの区民に対して生涯学習の機会について情報提供するために、一層周知に努める必要があります。参加団体からは、開催日増を望む声がありますが、費用対効果の面や実行委員会の体制等について、検討する必要があります。また今後も、学習相談コーナーの設置等を通じて、生涯学習活動に対する支援に努めてまいります。		より多くの区民に対して生涯学習の機会についての情報提供するために、引き続き周知に努める必要があります。参加者からは体験コーナーの拡充を望む声がありますが、使用会場や事業全体のスケジュール、実行委員会の運営体制などを検討する必要があります。			
指標達成度		26年度	27年度	28年度	
		A	A		

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
①	「体験フェアは色々な活動がわかるので続けてください。」「いろいろな勉強する機会が見れて良かった。」「楽しみを見つけて生きていく良い見本を見ているようでした。」「体験コーナーを増やして欲しい。」（来場者アンケート）
②	本事業の企画・運営は、生涯学習支援者で構成された実行委員会との協働により実施しています。

6 今後の方向性		
時点	方向性	内容
26年6月末	現状維持	① 事業の展開内容 事業内容は概ね現状を基本とし、コストは現状維持しつつ、効果的なPRにより更なる周知に努めていきます。
		② 当初予算の増減内訳 増減なし
27年6月末	現状維持	③ 所要人員の考え方 3/12月×2人×30%=0.15人
		④ 現状維持の理由 引き続き、年2回開催の規模で定着を図っていきます。
28年6月末		

平成27年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	159	事業名	生涯学習支援者の育成及び活動機会の提供
基本構想上の位置付け	【大項目】		【小項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	地域の生涯学習のリーダーとなる「文の京生涯学習司」、地域文化事業に貢献する「文の京地域文化インタープリター」、アカデミア講座の運営を支援する「文京アカデミアサポーター」など、生涯学習支援者の育成やスキルアップを図るとともに、活動機会の提供・充実に努めます。		
手段	生涯学習支援者を育成する講座や育成した人材が一層のスキルアップを図ることができる講座を実施します。 また、生涯学習支援者が連携を深め、活動できる機会を設けます。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
生涯学習司養成講座開催回数	回	-	1	1	100%				1
インタープリター養成講座開催回数	回	-				1			
サポーター養成講座開催回数	回	1	1	1	100%	1			1
学習支援者スキルアップ講座開催回数	回	2	10	3	30%	10			10
学習支援者連絡会開催回数	回	2	2	2	100%	2			2

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	816	1,415	1,415	1,415		
特定財源	0	0	0	0		
一般財源	816	1,415	1,415	1,415		
所要人員 B	0.15	0.15	0.15	0.15		
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944		
人件費 D=B×C	1,030	1,022	1,015	1,042		
総経費 E=A+D	1,846	2,437	2,430	2,457		

4 評価				
事業の成果及び課題				
26年度	27年度	28年度		
【成果】 サポーターは新規登録21名を加え、累計148人となったほか、学習支援者を対象とするスキルアップ講座や連絡会を開催しました。 また、生涯学習司やインタープリターが企画運営を行う特別公開講座や生涯学習支援者が企画運営を行う生涯学習一日体験フェア、インタープリターが企画・制作を行う企画展「徳川慶喜生誕・終焉の地ぶんきょう」を開催しました。	【成果】 生涯学習司養成講座を実施し、生涯学習司認定者は新規認定17名を加え累計164名となりました。また、サポーターは新規登録21名を加え累計169名となりました。その他、生涯学習支援者を対象とするスキルアップ講座（著作権1講義、パソコン2講義）や生涯学習支援者連絡会を開催しました。 また、特別公開講座（3講座）やシネマサロン特別番組、生涯学習一日体験フェアは、いずれも生涯学習支援者が企画・運営を行いました。	【成果】		
【課題】 生涯学習支援者の活動の場について、引き続き拡充を図る必要があります。生涯学習支援者は、企画展や各種生涯学習講座の実施・運営に携わり、今後も育成した人材のスキルアップを図る機会や、活動機会の提供を行っていく必要があります。	【課題】 生涯学習司やインタープリター等の生涯学習支援者について、より一層若年世代の開拓を図る必要があります。さらに、育成した人材のスキルアップを図る機会や、活動機会の場の提供を引き続き行っていく必要があります。	【課題】		
指標達成度		26年度	27年度	28年度
		A	B	

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況
①生涯学習司とインタープリターの養成は隔年で実施していきます。平成26年度生涯学習司養成講座を実施し、平成27年度はインタープリター養成講座を実施する予定です。
②生涯学習支援者との協働により事業を実施することで、区民参画にもつながっています。

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	拡充	生涯学習司とインタープリターの養成は隔年で実施していきます。平成26年度は生涯学習司養成講座を実施し、27年度はインタープリター養成講座を実施する予定です。
27年6月末	現状維持	② 当初予算の増減内訳 増減なし
28年6月末		③ 所要人員の考え方 3/12月×2人×30%=0.15人
		④ 現状維持の理由 生涯学習支援者について、引き続き、育成及びスキルアップ、活動の機会を提供していく必要があります。

平成27年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	160	事業名	大学・企業等との協働の推進
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	大学、企業及び団体と連携した事業を展開し、区民ニーズに合った生涯学習の機会を提供します。		
手段	大学の学習環境や高度かつ専門的な知的財産を活用するため、大学プロデュース特別公開講座（大学学長講演会）を実施します。また、企業や団体の社会貢献事業を積極的に誘致し、メセナ講座・講演会を実施します。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
大学プロデュース特別公開講座開催回数	回	2	2	2	100%	2			2
メセナ講座・講演会開催回数	回	4	3	4	133%	3			3

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	1,920	206	206	206		
特定財源	0	0	0	0		
一般財源	1,920	206	206	206		
所要人員 B	0.15	0.15	0.15	0.15		
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944		
人件費 D=B×C	1,030	1,022	1,015	1,042		
総経費 E=A+D	2,950	1,228	1,221	1,248		

4 評価				
事業の成果及び課題				
26年度	27年度	28年度		
【成果】 大学プロデュース特別公開講座を2回、メセナ講座・講演会を4回開催しました。受講者に対するアンケートの結果も良好でした。	【成果】 大学プロデュース特別公開講座を2回開催しました。また、メセナ講座・講演会を4回開催しました。（うち2回は新たな企業等との連携による。） 受講者に対するアンケートの結果も概ね80%を超える満足度を得ることができ、好評でした。	【成果】		
【課題】 大学及び企業等との連携が不可欠です。大学については、生涯学習担当者連絡会等を通じて、今後も引き続き連携の強化を図ります。企業・団体等についても、引き続き新たな協力先の開拓に努める必要があります。	【課題】 引き続き、新たな協力先の開拓に努める必要があります。また、講座内容については、受講者の満足が得られるように、引き続き大学・企業・団体等と調整していく必要があります。	【課題】		
指標達成度		26年度	27年度	28年度
		A	A	

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況
①大学プロデュース特別公開講座、メセナ講座・講演会とも、概ね80%を超える満足度が得られました。（受講者アンケート）
②本事業の実施により、区内大学や区内企業・団体等との連携強化につながります。

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	改善・見直し	大学や企業等と連携し、区民ニーズに合った講座を実施していきます。
27年6月末	現状維持	② 当初予算の増減内訳
		増減なし
28年6月末		③ 所要人員の考え方
		$3/12月 \times 2人 \times 30\% = 0.15人$
		④ 現状維持の理由
		引き続き、大学や企業等、協力先との連携強化に努めていきます。

平成27年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	161	事業名	文京アカデミア講座（生涯学習講座）
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
個別計画	【小項目】		
	生涯学習機会		
所管	アカデミア推進部	アカデミア推進課	
目的	区民ニーズに合った生涯学習の機会を提供するとともに、いつでも、どこでも、誰でも学習できる機会の充実を目指し、区民の生涯学習活動への参加を支援します。		
手段	地域、文学、歴史・社会、芸術、くらし、語学、健康・スポーツなどバラエティに富んだ内容の講座を提供するとともに、大学等各種提案主体の特長を活かし、受講者の満足を得られる講座を提供します。また、資格取得キャリアアップ講座やe-ラーニング講座など、多彩なメニューを提供します。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
自主企画講座の実施回数	回	15	16	16	100%	16			16
民間教育機関企画講座の実施回数	回	31	32	30	94%	32			32
大学キャンパス講座の実施回数	回	32	28	32	114%	28			28
区民プロデュース講座の実施回数	回	12	15	13	87%	15			15
いきいきアカデミア講座の実施回数	回	1	1	1	100%	1			1
子どもアカデミア講座の実施回数	回	13	14	14	100%	14			14
e-ラーニング講座の実施回数	回	3	3	3	100%	3			3
個別テーマ(パソコン等)講座の実施回数	回	33	24	33	138%	24			24

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	9,476	11,988	11,988	11,988		
特定財源	0	0	0	0		
一般財源	9,476	11,988	11,988	11,988		
所要人員 B	0.15	0.15	0.15	0.15		
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944		
人件費 D=B×C	1,030	1,022	1,015	1,042		
総経費 E=A+D	10,506	13,010	13,003	13,030		

4 評価			
事業の成果及び課題			
26年度	27年度	28年度	
【成果】 指標ごとの講座の実施回数に増減はありませんでしたが、講座全体では、概ね計画数を達成できました。受講者アンケートでは、ほとんどの講座で80%を超える満足度に達しており、講座内容は充実しています。	【成果】 区民プロデュース講座の実施数が計画数に達しなかったものの、大学キャンパス講座は計画数を上回る実施ができ、その分、民間教育機関企画講座の実施数を抑え、講座全体では計画数を達成することができました。受講者アンケートでは、ほとんどの講座で80%を超える満足度に達しており、講座内容は充実しています。	【成果】	
【課題】 勤労者や子育て世代の需要にも応えていくため、こうした世代のニーズを考慮した内容や開催日時の講座を実施していますが、更に充実させる必要があります。	【課題】 一部には応募倍率が約3～9倍に及ぶ受講希望者が集中した講座があり、受講定員の拡大や同講座の再実施の要望があります。こうした要望を踏まえ、区民ニーズを考慮した講座企画を行う必要があります。	【課題】	
指標達成度			
	26年度	27年度	28年度
	B	B	

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
①講座の難易度や回数、時間等については様々な希望がありますが、ほとんどの講座で受講生の満足度が80%を超えていて、一部は90%を超える講座もあるなど、好評を得ています。（受講生アンケート）	
②区民提案講座（区民プロデュース講座）、文京アカデミア学習推進関係委員会、生涯学習支援者が企画・運営する講座の実施や、アカデミアサポーターによる講座運営サポートなど、多様な区民参画を推進しています。	

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	現状維持	② 当初予算の増減内訳
		増減なし
27年6月末	現状維持	③ 所要人員の考え方
		3/12月×2人×30%=0.15人
28年6月末	現状維持	④ 現状維持の理由
		施設利用状況等を考慮すると、講座実施数には限界があり、現状の範囲内で区民ニーズにあった講座を実施していきます。

平成27年度 事務事業評価表【B様式】

1 事業の概要			
事業番号	162	事業名	インターネット施設予約システムの更新
基本構想上の位置付け	【大項目】		【小項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	施設利用者に対して更に利便性・操作性に優れたサービスを提供するとともに、システムの処理機能を見直すことで施設管理者の事務処理の一層の効率化を図ります。		
手段	施設予約システムに対する、利用者・施設管理者の双方の要望を把握し、それらを適切に反映できるよう更新を行います。		

2 取組状況	
25年度	
26年度	システムの現状分析を行うとともに、関係部署との調整・協議を行いました。また、他自治体の動向の把握に努めました。
27年度	

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A		0	0	0		
特定財源		0	0	0		
一般財源		0	0	0		
所要人員 B		0.20	0.20	0.20		
職員1人給与 C		6,814	6,766	6,944		
人件費 D=B×C		1,363	1,353	1,389		
総経費 E=A+D		1,363	1,353	1,389		

4 評価					
事業の成果及び課題					
26年度		27年度		28年度	
【成果】		【成果】 施設予約システムの更新に向け、現状分析を行うとともに、他自治体の動向の把握に努めました。		【成果】	
【課題】		【課題】 施設料金や予約期間の変更等、施設の運用方針の移行に対して迅速・柔軟に対応できるシステムを構築し、併せて運用経費の削減をする必要があります。		【課題】	
達成度		26年度	27年度	28年度	
			A		

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
①施設予約システムを取り巻く環境は年々変化し、利用者ニーズも多様化しており、システム環境に柔軟に対応できるシステム構築が必要です。	

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	現状維持	平成27年度 システム委員会協議・予算要求 平成28年度 更新 平成29年度 更新後システム稼働
27年6月末	現状維持	② 当初予算の増減内訳
28年6月末		③ 所要人員の考え方 0.1×2人=0.2人
		④ 現状維持の理由

平成27年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	163	事業名	アカデミー向丘の整備
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	第六中学校の改築により複合施設の一部として、生涯学習施設アカデミー向丘を整備し、区民の学習・文化活動の拠点として、生涯学習の充実を図ります。		
手段	「文京区立第六中学校改築基本構想」に基づき、第六中学校の全面改築に伴い、複合施設の一部としてアカデミー向丘を整備します。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
建築工事進捗度	%	-	100	100	100%	-			-

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A		14,434	12,139			
特定財源		0	0			
一般財源		14,434	12,139			
所要人員 B		0.10	0.10			
職員1人給与 C		6,814	6,766			
人件費 D=B×C		681	677			
総経費 E=A+D		15,115	12,816			

4 評価					
事業の成果及び課題					
26年度		27年度		28年度	
【成果】		【成果】 平成27年3月の開館に向け、関係各課及び各事業者等と調整を行い、3月23日に開館しました。また、開館を記念して、オープニングセレモニー式典や内覧会を行いました。		【成果】	
【課題】		【課題】 施設利用や運営面に関して、利用者等の意見をもとに、より一層利用しやすい施設づくりを行います。		【課題】	
指標達成度		26年度	27年度	28年度	
			A		

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	現状維持	施設の開館を記念して、3月にオープニングセレモニー式典や内覧会を行いました。
27年6月末	終了確定	② 当初予算の増減内訳 皆減（事業終了による）
28年6月末		③ 所要人員の考え方 0.1人×1人
		④ 現状維持の理由

平成27年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	164	事業名	生涯学習情報の一元化及び相談拠点の整備
基本構想上の位置付け	【大項目】		【小項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	区民がいつでも、どこでも生涯学習に参加できるように、様々な主体が実施している生涯学習事業の情報を一元化するとともに、気軽に相談できる窓口などの情報拠点を整え、一人ひとりの知識や意欲に応じた「学び」との出会いを支援します。		
手段	区ホームページと指定管理者、大学等と関連情報の相互リンク等を推進し、情報のネットワーク化を図るとともに、相談拠点を設けます。また、情報紙の発行に対する補助や、ホームページ、パンフレットによる情報提供を行います。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
情報紙の発行	回	12	12	12	100%	12			12
講座案内の発行	回	4	4	4	100%	4			4
情報コーナーの設置	か所	0	—			1			—

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	11,987	12,973	12,973	12,935		
特定財源	0	0	0	0		
一般財源	11,987	12,973	12,973	12,935		
所要人員 B	0.15	0.15	0.15	0.15		
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944		
人件費 D=B×C	1,030	1,022	1,015	1,042		
総経費 E=A+D	13,017	13,995	13,988	13,977		

4 評価					
事業の成果及び課題					
26年度		27年度		28年度	
【成果】 生涯学習活動について、情報紙（スクエア）や講座案内、ホームページや区報等を通じて情報提供に努めました。 また、生涯学習一日体験フェアに学習相談コーナーを設け、区民の生涯学習活動に対する支援を行いました。		【成果】 生涯学習活動について、情報紙（スクエア）や講座案内、ホームページや区報等を通じて、引き続き情報提供に努めました。 また、生涯学習一日体験フェアに学習相談コーナーを設け、区民の生涯学習活動に対する支援を行いました。		【成果】	
【課題】 生涯学習活動について、従来の情報提供方法に加え、区ホームページを起点とする情報のネットワーク化を図ることで、区民に対する一層の情報提供に努める必要があります。		【課題】 生涯学習活動について、区民に対する一層の情報提供に努める必要があります。 さらに、従来の情報提供方法に加え、より区民が把握しやすい情報提供の仕方を検討していく必要があります。		【課題】	
指標達成度		26年度	27年度	28年度	
		B	A		

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況
①平成26年12月に実施した「文京区アカデミー推進計画に関する実態調査」では、生涯学習活動について「参加したいができなかった」「参加したいと思わない」ないし「満足していない」理由として、「仕事・学習・家庭等で忙しいから」と答えた方が、男性女性ともに全体の5割を超えています。また、「情報が得られなかったから」という理由を、男性20歳代で29%の方が挙げています。

6 今後の方向性		
時点	方向性	内容
26年6月末	拡充	① 事業の展開内容 情報収集体制及び学習相談拠点の整備に向けた具体的な検討を行います。
		② 当初予算の増減内訳 情報紙の印刷及び配布経費の減 △38千円
27年6月末	現状維持	③ 所要人員の考え方 3/12月×2人×30%=0.15人
		④ 現状維持の理由 引き続き、情報提供や学習相談体制の整備に努めていく必要があります。
28年6月末		

平成27年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	165	事業名	図書館におけるICTサービスの拡大
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
【小項目】 図書館機能の充実			
個別計画			
所管	教育推進部	真砂中央図書館	
目的	利用者がインターネットを利用してホームページから図書館資料の検索・予約等を円滑に行うことができるよう、また、図書館職員が図書館システムを活用し業務の効率化を実現できるようにシステムを適切に運用・管理する事により、利用者サービスの向上等を図ります。		
手段	平成27年度の図書館システムのリース期間満了に伴い、スマートフォンやタブレットなどの新しい端末やユーザインタフェースに対応した、利便性の高いシステムにバージョンアップを行います。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
スマートフォン用ホームページからの予約割合	%	—	0.0	0		2.0			10
予約手続きのオンラインによる割合	%	—	92.6	92	100%	93.1			93.6

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	29,802	31,673	30,395	50,512		
特定財源	8	30	11	27		
一般財源	29,795	31,643	30,384	50,485		
所要人員 B	1.90	1.90	1.90	1.90		
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944		
人件費 D=B×C	13,049	12,947	12,855	13,194		
総経費 E=A+D	42,852	44,620	43,250	63,706		

4 評価			
事業の成果及び課題			
26年度		27年度	28年度
【成果】 延滞資料の督促メール本文に、資料番号に加え資料名も表示させることにより、利用者がその対象となる資料を探しやすくなりました。		【成果】 システムメンテナンスを行い、各種データを整備しました。 所蔵資料のジャンル検索に、図書・雑誌の他、CD・DVD・地域資料の区分を追加しました。利用者の蔵書検索の利便性が向上しました。	【成果】
【課題】 利用者を待たせない窓口業務や予約・検索などの利用者サービスが快適に行えるよう、他の通信量に影響されない帯域保障の回線に変更する必要があります。 図書館ホームページにセキュリティを考慮しつつログイン保持機能を追加し、複数本の予約等の処理手順を簡素化する必要があります。		【課題】 平成27年12月末の図書館システムのリース期間満了に伴い、スマートフォンやタブレットなどの新しい端末やユーザインタフェースに対応した、利便性の高いシステムに更新します。 リマインドメール機能など利用者から要望の多い機能の追加、アクセシビリティに留意した図書館ホームページの改修など、利用者メニューの操作性を高め、利用者サービスの向上を図る必要があります。	【課題】
指標達成度		26年度	27年度
			A
		28年度	

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況
①・図書館システムについて、システム改修に合わせ、利用者からの意見要望を踏まえ、電子機器に対応するなど、レベルアップが期待されています。 ・個人情報の保護及び著作権法の遵守について、十分留意する必要があります。 ・電子書籍等に対応するためのシステム等について、検討していく必要があります。 (いずれも、「文京区立図書館サービス向上検討委員会報告書[平成26年5月]」より)

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	改善・見直し	スマートフォンなどの新しいユーザインタフェースを持った機器に対応できるよう、図書館システム・図書館ホームページをバージョンアップします。
27年6月末	拡充	② 当初予算の増減内訳 18,839千円 システム更新にかかる開発委託の増(12,937千円)、システム設置・設定費の増(4,374千円)、回線敷設費の増(622千円)他
28年6月末		③ 所要人員の考え方 中央館として図書館システムやホームページの管理、運用、地区館との調整業務や、利用者や図書館員からの問い合わせ、トラブル対応など、1人x0.95x2人
		④ 現状維持の理由

平成27年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	166	事業名	文京区立図書館のサービス向上
基本構想上の位置付け	【大項目】		【小項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
個別計画			
所 管	教育推進部	真砂中央図書館	
目的	多様なニーズに応じて、真砂中央図書館の中央館機能の充実を含む区立図書館のサービスの向上を図ります。		
手段	平成26年5月に出された「文京区立図書館サービス向上検討委員会報告書」を踏まえ、真砂中央図書館の改修工事を含む図書館サービス向上となる事業を進めます。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
真砂中央図書館改修準備	%	—	30	30	100%	70			
真砂中央図書館改修工事の進捗度	%	—				70			100
図書資料の貸出・返却取次拠所の設置	か所	—				1			
学校図書館への人的支援の拡大	校	—	15	15	100%	30			

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A		47,063	13,487	643,127		
特定財源		0	0	0		
一般財源		47,063	13,487	643,127		
所要人員 B		0.10	0.10	0.60		
職員1人給与 C		6,814	6,766	6,944		
人件費 D=B×C		681	677	4,166		
総経費 E=A+D		47,744	14,164	647,293		

4 評価					
事業の成果及び課題					
26年度		27年度		28年度	
【成果】		【成果】	<ul style="list-style-type: none"> 真砂中央図書館の集密書架の整備、YA（ヤングアダルト）専用空間の充実、地域資料コーナーの拡充など、区民ニーズに沿った中央館機能を充実するとともに、老朽化した空調設備や給排水設備を更新し、レイアウトの変更を含む改修工事を円滑に実施するため、実施設計やレイアウト等を施設管理課等関係所管と詳細調整しました。 平成27年より新向丘地域活動センターに予約資料の受け取りを行う取次所を設置するため、関係所管と運用等の調整をしました。 学校支援の人的支援として、小学校9校、中学校6校で実施しました。 	【成果】	
【課題】		【課題】	真砂中央図書館の休館期間中に、中央館業務として指定管理者との調整、資料選定等、地区館業務として幼稚園・保育園等への出張行事、地域の児童を対象とした行事等の業務を円滑に行うことが重要です。 リニューアルオープンに向けて、計画とおりに進行するよう準備を進めていく必要があります。 ・学校図書館への人的支援の拡大を実施しましたが、今後も学校と密に連携を取り、子ども読書活動の環境を整えていく必要があります。	【課題】	
指標達成度		26年度	27年度	28年度	
			A		

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
①・真砂中央図書館は資料収集機能を高めることが急がれます。空調設備の不調等の課題があり改修・更新工事により解決することが求められています。 <ul style="list-style-type: none"> 区立図書館からの学校図書館への人的支援について、全校に拡大することや派遣内容の充実が望まれます。 平成27年度から移設される向丘地域活動センターに予約資料の受け取りを行う取次所の設置を望まれます。 （以上「文京区立図書館サービス向上検討委員会報告書[平成26年5月]」より）	

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	現状維持	新たな利用者サービスを検討し、より一層の図書館サービスの充実を図ります。 ② 当初予算の増減内訳 26年度予算：図書館サービス向上検討委員会運営費(102,000円)・実施設計費(施設管理課) (46,961,000円) 27年度予算：真砂中央図書館改修関係経費事務費 (19,507,000円)・改修工事経費(施設管理課) (623,620,000円)
27年6月末	拡充	③ 所要人員の考え方 26年度：図書館サービス向上検討委員会 1人×0.1×1人 27年度：真砂中央図書館改修関係 1人×0.2×3人
28年6月末		④ 現状維持の理由